事業完了報告書

提出日：2023 年 6 月 6 日

１．事業概要

（1）資金分配団体名：一般社団法人全国食支援活動協力会

（2）事業名：　こども食堂サポート機能設置事業

（3）事業実施期間：　2020 年 11 月 26 日～2023 年 3 月 31 日

（4）実行団体名：特定非営利活動法人寺子屋方丈舎、一般社団法人こどもの居場所サポートおおさか、一般社団法人コミュニティシンクタンク北九州、社会福祉法人那覇市社会福祉協議会

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☐ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☑ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス委員会を設置していましたか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 コンプライアンス上の問題が発生した場合に、検討会議にて開催をすることとなっており、該当する問題は発生しなかったため。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 会計監査は、決算理事会前に監査役（2 名）にて事前に実施。実施時期は、5 月 21 日の理事会前に審議する予定。
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☑ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	「物流ニッポン（2021 年 5 月 14 日）」「家の光（2022 年 7 月号）」「物流新時代（2022 年 8 月 15 日）」「月刊社会教育」（2022 年 9 月号）」「明日の食品産業（2022 年 12 月号）」
広報制作物等	有	あんしん手帖（2021 年度、2022 年度）
報告書等	有	事後評価レポート

5. 実行団体への事業完了時監査

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

実行団体への事業完了時監査は実施しましたか。
☐ 実施済み ／ ☑ 実施予定（完了予定時期：2023 年 7 月 ）
→上記で「実施済み」を選択した場合、どのような評価できる点や課題があったか、その他気づいた点などを記載してください。

6. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

活動をはじめて直ぐに、コロナが発生した。4 つの地域は連携して、地域課題と解決のためのノウハウを共有することになった。ノウハウを共有できたことで、それぞれの組織は地域でのネットワークと組織力を広げることになった。課題解決力が増すことで、各団体は本来事業からスピンオフをして、進化して新たな地域課題に取り組む団体もでてきた。
こうした実行団体に対して、助成事業の期間を延長、或いは並行して追加助成をするなど資金分配団体の裁量を拡大して継続的に応援するしくみが必要だと考えます。
　この度の事業に実施させて頂いたことで、模索しながらも中間支援組織としての支援ノウハウが蓄積されてきた。今後はこうした地域課題を垂直に吸い上げる機能と、産官学民からなる多様なネットワークをつなげる中間支援組織の機能に着目し、社会で有効に活用されるしくみが整うことを切に願う。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）
それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

写真１

写真２

写真３

写真４

（説明）

写真１…2019 年度実行団体＋2020 年度実行団体の合同研修会（2022 年 3 月）

写真２…新型コロナウイルス感染症の影響下にある子ども達を支援するために、資金分配団体が企業等からの寄贈窓口となり、実行団体を通じて多様な食品や物資を届けることができた。（20 年 12 月）

写真３…2020 年 9 月。ロジックモデルの見直しとともに各サポートセンターが繋がっている地域資源をエコマップに可視化。

写真４…食でつながるフェスタ大阪（20 年 11 月）に 4 実行団体、資金分配団体も参集しコロナ禍のこども食堂等居場所と活動の現状と課題を共有した。